

新潟県・平ヶ岳（2139M）

2014年9月14日(日)～15日(月)

磯部S（リーダー）、奥村、磯部N（記）

9月14日（曇り時々晴れ）

平ヶ岳は群馬県と新潟県との県境にあって、尾瀬までわずか1時間弱という位置にある深田100名山の一つです。100名山の中では、山頂までの距離が長く、日帰りには厳しい山の一つだ、と言われています。

近年、林道を最奥まで車で入り、3時間ほどで頂上に着くというツアーもあり、宮様コースと呼ばれ、利用者も多いようですが、今回は鷹ノ巣登山口から、往復23キロほどを1泊2日で目指しました。

鷹ノ巣登山口まで、奥只見湖に沿った国道352号線を走るのので、カーブの連続とすれ違いもままならないような狭い箇所もあり、気が抜けません。そこまでもとてつもなく長く、往復1000キロ、行くだけで7時間かかりました。



駐車場

たどり着いた駐車場はトイレもありますが、既に満車で、400メートルほど離れた路肩に駐めてスタートしました。連休なのと天気もまずまずの予報なので、車がびっしりでした。

登山口からしばらく歩くと岩の混じる痩せ尾根に出ます。痩せ尾根で一挙に700メートルほどの標高を稼ぎ、いきなりの急登と、緊張で疲れます。滑りやすい岩場にはことごとくフィックスロープが張られていました。



青空の下、稜線を歩く

この時期、花は少ないのですが、痩せ尾根にはミヤママコナがたくさん咲いていました。

下台倉山からは道がなだらかになりますが、登山道は水を含んでぐちぐちの歩きにくい泥の道にかわり、木の根も出ていたりのイヤな道です。

台倉山を過ぎると湿地状の箇所は木道が整備されていて、俄然歩きやすくなります。

この日は体調不良者もいて時間もかかり、予定していた池ノ岳テント場を変更し、白沢清水近くでビバークとなりました。水は台倉清水で確保できます。白沢清水は流れがなく、取れませんでした。



台倉清水・・・思いの外流れはあった

<タイム> 鷹ノ巣登山口(8:50)-下台倉山(12:45)-台倉清水(14:40-15:10)-白沢清水(16:00)-ビバーク地点(16:05)

9月15日（曇りのち晴れ）

3時半起床。5時出発。



期待していた景色に会えて感動

一部荷をデボしたので、楽に池ノ岳を目指します。樹林帯を抜けた所で運良くご来光を見ました。背中から朝日が真っ赤に山々を照らして、それは感動ものでした。



振り返ると奥只見湖と雲海が見えた

急な道を上り詰め、池ノ岳を越えるとようやく、高層湿原の姫の池に出ました。板間にはテントがずらりと並びます。テントからは、でっかい平ヶ岳の山頂が望めます。なだらかな、優しい山容です。



池ノ岳から平ヶ岳を望む

湿原では、すでに草紅葉が始まっていました。
ここから山頂まで45分のコースタイムで、一旦緩やかに下り、またゆるやかに登ります。
その道程のほとんどが木道歩きです。地塘の点在や木道歩きなど尾瀬の景観に似ています。



平ヶ岳に向かって気持ちよく木道を進む

ようやくたどり着いた山頂からは燧ヶ岳や至仏山、榛名山、など名だたる山が望めました。
頂上からさらに木道を進むと越後三山など絶好の展望地が作られていました。
しばらく景色をじっくり楽しんでいると、沢登りのグループや宮様コースからの登山者が続々と上がってきました。



池塘と越後三山

帰りは足をのばして、奇岩「玉子石」を見て、池ノ岳から往路を戻りました。
池ノ岳下部の水場のあるテント場 2 箇所も、連休のため満杯。唯一平ヶ岳山頂は空いていました。

下りは全員快調に予定通りで下山。遠方の山でたどり着くまでがたいへんでしたが、山はゆったりと楽しめました。



ミヤマママコナ

<タイム>ビバーク地点(5:00)-池ノ岳(6:30)-平ヶ岳(7:05-7:35)-玉子石(8:25)-ビバーク地(10:10-10:30)-鷹ノ巣登山口(14:25)

以上